

2021 年度 東アジア文化都市 青少年交流事業

～事業報告書～



新潟市文化スポーツ部文化政策課

1 事業名

東アジア文化都市青少年オンライン交流

2 事業概要

(1) 趣旨

2015年の東アジア文化都市である新潟市、青島市(中国)、清州市(韓国)の3都市は、2015年以降も継続した青少年交流を実施しており、文化の共通性や独自性を認識して価値を共有するとともに、未来を担う若者同士の相互理解や連帯感を深化させ、平和・共生・交流に向けた関係づくりを進めることを目的としている。

(2) 実施内容

昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、オンラインを活用した交流を実施。韓国の2016年選定都市である済州特別自治道とは初めての青少年交流となった。

(3) 開催日時

① Aコース

令和3年7月27日(火)	14時～17時	交流都市：清州市
令和3年8月11日(水)	〃	交流都市：済州特別自治道

② Bコース

令和3年7月28日(水)	14時～17時	交流都市：済州特別自治道
令和3年8月12日(木)	〃	交流都市：清州市

③ Cコース

令和3年7月31日(土)	14時～18時	交流都市：青島市
--------------	---------	----------

(4) 会場

新潟ユニゾンプラザ 小研修室3 ※7/28のみ小研修室2

(5) 協力

学校法人国際総合学園 国際映像メディア専門学校

(6) 交流内容

- ・自己紹介
- ・自都市(自国)の文化、観光スポット、食べ物等の紹介
- ・フリートーク
- ・感想発表
- ・記念撮影

3 参加者

Aコース 7/27：新潟市 10名（清州市 10名）、8/11：新潟市 9名（済州道 6名）

Bコース 7/28：新潟市 9名（済州道 8名）、8/12：新潟市 10名（清州市 9名）

Cコース 7/31：新潟市 7名（青島市 7名）

4 参加者の声 ※アンケート回答からの抜粋

【Aコース】

- ・韓国と日本でどんな違いがあるのかと思っていたが、多少の文化の違いはあるものの、同じ高校生としての共通点が多くあり、親近感もてた。違うようで似ている、韓国はそんな国だと思う。コロナが落ち着いたら韓国に行きたい。
- ・インターネットで調べても分からない、現地の人ならではの観光地や食べ物を知ることができ、貴重な経験になった。
- ・日本と韓国の共通点や違う点をたくさん知ることができた。
- ・お互いの地域の状況や食べ物、常識に関心が持てた。加えて、同年代の韓国人と話すことで今まで知識としてしか知らなかった韓国のことを実感として感じられた。この交流が終わっても韓国のことをもっと知って触れ合っていきたいと思う。
- ・韓国など他の国や都市について知ると同時に、自分の故郷である新潟市や日本のことについてももっと知ることが大事だと思った。

【Bコース】

- ・交流前は知らなかった済州・清州の文化や観光地についてたくさん知ることができた。韓国の同世代と話すのがとても楽しかった。
- ・新潟でこういう文化を理解し合える場があることを知り、嬉しく思う。
- ・アジアの国々にはあまり良いイメージをもっていなかったが、交流を通して多くの人が日本に興味を持ってくれていることが分かり嬉しかった。韓国に旅行できるようになったら、教えてもらった観光地を訪れたり、食べ物を食べたりしたいと思った。
- ・日本と似ている所もあったが、たくさん違いを見つけられて面白かった。
- ・違う国なのであまり話が合わないのではと心配していたが、向こうの高校生たちも同じような考えを持っていて、とても話が合い楽しかった。近い年齢の交流だったので友達と話しているような気分だった。
- ・日本の歌手など、日本のことについて詳しい人がたくさんいて嬉しかったし、日本語を話せる人もたくさんいて驚いた。いつか通訳なしで話したいと思ったので、韓国語を勉強したいという気持ちがより強くなった。

【Cコース】

- ・交流を通して新しい発見があり、中国に興味を持った。
- ・参加前は緊張していて、何も話せなかったらどうしようと思っていたが、国境を越えた交流でも、こんなに会話が弾んで楽しいものなんだと感じた。
- ・海外の同世代と交流したのは初めてで、身近に感じることもできた。学校行事や部

活動など、日本との共通点もあったが、相違点を知れたのが面白かった。また、中国の学生が日本語や日本文化にとっても興味を持っていることを知れて、自分ももっと自主的に学んでいきたいと思った。

- ・青島の人が頑張って日本語を話している事や勉強している事にとっても刺激をもらった。
- ・お互いの国を紹介すると、違った文化が見えてくるし、驚くことが多かった。
- ・色々聞きだしてみても、日本と同じところもあれば違うところもあり、色んなことに気づけて、発見できて良かった。次も参加したい。

5 まとめ

昨年に引き続き、オンラインによる交流となったが、今年はパートナー都市以外に、韓国の済州特別自治道を加え、3都市と交流を行った。また昨年より人数や交流回数を増やすなど、交流規模の拡大を図った。

自己紹介から始まり、各都市のおすすめスポットや行事、食べ物などについて、写真等を用いて紹介し合ったほか、学校生活をはじめ、興味関心のあることについて質問し合い、互いの街の特徴や海外に住む同年代の生活の様子などを知る貴重な時間となった。

どうしても往来交流に比べ、できることが限られる交流ではあるが、参加者からは一様に意義深い交流となったことが伺え、互いに文化の違いや共通する点を知り、相互理解を深めるという目的に対しては一定の成果を収めることができた。

<参加者アンケート結果>

対象者数	回答数	回答率
27	26	96%

○今回の交流の満足度を教えてください。

満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満
26	0	0	0	0

○今後も国際交流に関する事業(イベント)等があった場合に参加したいですか？

参加したい	どちらでもない	参加したいとは思わない
26	0	0

◆交流の様子

1 自己紹介

手作りの自己紹介カードを見せながら、参加動機等について発表

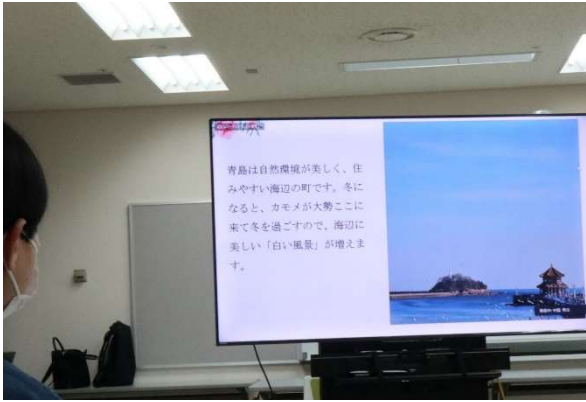


2 わが街PR

紹介したい自都市（自国）の文化、観光地、食べ物等について発表

発表後は、お互いの発表に対して気になった点、追加で知りたい点などを交互に質問





ビビンパブ

ビビンパブはご飯に各種ナムルとソース、そしてその他、動物性材料（卵、肉、ツナ缶詰等）を入れて混ぜて作る料理です。



1. ご飯をビビンパブの器に入れて
2. ごま油とコチュジャンにご飯と野菜を加え、
3. 全ての材料を混ぜます。

CHEFONG II



3 フリートーク

学校生活に関することをはじめ、興味関心のあることを交互に質問

